

2005年 防災教育チャレンジプラン

地震と津波についての防災意識を 育てる学校防災教育

～小学生用地震津波防災資料の作成～

北海道防災教育研究会

発表 宮嶋衛次(北海道立理科教育センター)

○ お礼

中間報告会でのアドバイスありがとうございました。可能な限り生かさせていただきました。

プランの概要

○ 地震と津波の防災教育資料の作成 (小学生向)

児童用資料 ……12ページ＋表紙、裏表紙
(低学年、中学年、高学年)

教師用説明資料

……プレゼンテーション資料

……指導資料

○ 古平町立古平小学校での実践(11/21)

○ 道立理科教育センターでの教員研修(1/6)

○ 道内小学校への配布とWebでの公開

防災教育資料

○ 検討委員会

北海道防災教育研究会のメンバー
＋道内の小学校教員 5名

札幌管区気象台のメンバーを中心に
たたき台を作成して、**小学校の教員が**
検討

児童用資料

○ 合計12P 発達段階に応じた構成・内容

低学年用 1～4P

・・・じしんとつなみのこわさ

地震と津波のこわさ、避難することを知る

中学年用 5～8P

・・・地しん・つ波から身を守るために

地震と津波からの具体的な避難方法を知る

高学年用 9～12P

・・・地震と津波

地震と津波のメカニズムを知ることによって防災意識を高める

児童用資料

○ 低学年用 4P

・・・じしんとつな みのこわさ

画像を見せてどのような
ことが起きるのかを考え
させる。

避難についても考えさせ
る

おうちの方へのアドバイス



うみの ちかくに いるときに じしんが おきたら
どうすれば いいのかな。

おうちの方へ
 強く揺れ、ゆるれ、弱くてもゆっくりと揺れを感じたら津波が来るかもしれ
 ません。海の近くにいない場合はただちに避難しましょう。
 ・できるだけ海とは反対側の高台、山などへ逃げる。
 ・近くに高いところがない場合は、土気な建物の上の階へ避難する。
 ・津波は繰り返し襲ってきます。津波警報や津波注意報が解除されるまで避難
 していきましょう。

児童用資料

○ 中学年用 4P

・・・地しん・つ波から身を守るために

地震と津波の被害にあわないための方法について学ぶ。

・つ波は川をさかのぼります。

・つ波はなんどもくり返し海がんにおしよせます。

・つ波は海水が引くことからはじまるばあいがあります。



こわかった地しんとおおつなみ（ほっかいどうなんせいおき地しん）

7月12日の夜10時17分、いきなり地しんがきました。私は地しんがこわくて、ふるえながら車にのっていたら、いきなり水がどうときて、うかされて、車ごとはしらにぶつかってしまいました。そしてお父さんが一回目のつ波でげんかんから、おばあちゃんのへやまで流されました。あたまに「しめなんていやだ」とうかんで声に出してしまいました。（稲穂小学校4年生の作文から）

つ波が発生したときにげるばしょは！

地しんのときに、あなたのかぞくのひなんばしょは！

おうちの方へ

気象庁では地震発生後およそ3分で津波予報を発表しますが、それよりも早く津波が来る恐れがあるのでただちに避難しなくてはなりません。

また、津波は第二波、第三波とくり返し襲ってくるので、気象庁の津波警報・津波注意報が解除されるまでは気を緩めないでください。

児童用資料

○ 高学年用 4P ・・・地震と津波

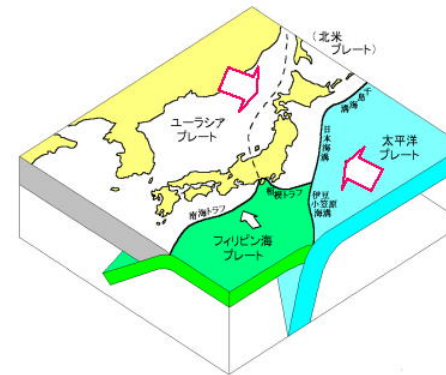
確信を持って避難で
きるように地震と津波
のメカニズムを学ぶ

(3) 地震が起こるしくみ

地震は、地球をつくっている岩石の一部分が急に動き、ゆれの波が発生する現象です。



地球の表面は、プレートと呼ばれる厚さ100kmくらいの岩石の板でおおわれています。このプレートが動くことで、岩石に巨大な力が加わります。この力に岩石が耐えられなくなって、岩石が急に動いたときにゆれの波が発生します。



日本付近のプレートと地震、津波

日本列島付近には海側のプレート(太平洋プレート、フィリピン海プレート)と陸側のプレートの境目があって、海側のプレートが陸側のプレートの下に沈み込んでいます。これが長い期間続いたため、地震はある期間ごとに何度も繰り返し発生するのです。

(4) 津波が起こるしくみ

陸側のプレートは、沈み込んでいる海側のプレートに引きずられて変形します。しかし、あるところで耐えられなくなって反発します(下図)。このような地震で、津波が発生するのです。



児童用資料

○ 裏表紙

「家の人と話し合ったことをかきましよう」

家の人にも**確実に**この資料を見てもらう

いえ ひと はな あ
家の人と話し合ったことをかきましよう！

○いえにいたとき、じしんがおこったらなにをしますか？

○テレビで”「つなみがおきそうだ」”といっています。
どこににげるとあんぜんですか？

○かぞくみんなで、ひなんするばしょは、どこですか？

○ひなんするとき、なにをもってひなんしますか？

○ほかに、はなしあったことをかきましよう。



北海道防災教育研究会 地震・津波部会

このプロジェクトは防災教育チャレンジプランに指定されています。

防災教育資料

○プレゼンテーション資料

低学年用 画像映像素材集

中学年用 画像映像素材集

+パワーポイント資料（動画含む）

高学年用 画像映像素材集

+パワーポイント資料（動画含む）

学校で再編集できるようにする

動画については札幌管区気象台作成の中学生
用津波防災ＣＤのものを主に使用

プランの概要

○ 古平町立古平小学校 での実践（11／21）

地震を想定した避難訓練後、資料を用いて、地震・津波についての防災授業を低学年、中学年、高学年に分けて実施



プランの概要

○ 古平町立古平小学校 での実践（11／21）

低学年
(約30分)

中学年
(約30分)

高学年
(約40分)

古平小 地震、津波の怖さ体験
冊子、映像で対処法学ぶ

【古平】地震や津波に、長、百五十四人で開か
対する小学生の防災意識
を高めようと、北海道防
災教育研究会地震津波部
会による防災教室が二十
一日、古平小（加納剛校）
で開かれ、児童ら約二百
人が参加した。地震の恐
ろしさを体験させ、いざと
いう時の対処法を教え
た。

同部会は道内の小学校
教員と札幌管区気象台、
道立防災教育センター地
学研究室で組織。「北海
道は十勝や釧路、松山と
比べ地震に対する意識が
高くないため、学校での
教育が重要」と古平小に
協力を依頼した。

地震を想定した避難訓
練に続いて、部会メンバ
ーでもある同小の教員が
低、中、高学年向けの教
材をそれぞれ行った。津
波の前に潮が引いた海を
見ると、海岸に人が集
まりがちなのを挙げて
「津波は一回限りの大波
ではない」「高台に逃げ
ることが大事」と冊子や
映像を使って教えた。参
加した児童は「津波が本
当に来たら家まで来な
くなる」と真剣に話
していた。

同部会は、作成した避
難冊子を研究会のホー
ムページなどで近く公開
する予定で、学校や家庭
での活用を呼びかけてい
る。

（中里）



地震体験装置で「揺れたらしゃがむ」ことを学ぶ児童

北海道新聞(11／22 朝刊)

低学年



中学年



高学年



プランの概要

○ 実践の成果

- ・ 地震後に望ましい行動を取ることができる児童が増加

○ 課題

- ・ 資料を見る保護者が少ない



修正：裏表紙に保護者と話した内容を記入する欄を設定

プランの概要

○ 教員研修 1月6日

場所 : 北海道立理科教育センター

参加者 : 道内教員 24名

内容

: 資料の紹介(15分)

古平小学校の実践紹介(20分)

災害のモデル実験紹介(25分)

プランの概要

○ 今後の予定

これらの資料が入ったDVDを
北海道教育委員会を通じて北海道
内の全小学校約1400校に配布

Webでの資料公開

**地震・津波による死者・
被災者を1名でも少なく**

最後に

- 北海道防災教育研究会 今後の予定
火山、風水害などについて学校で活用できる資料を検討していきます。

そのときは・・・また
指定して下さい